



特集 1 ICTを活用した取組の紹介

(自治体 Wi-Fi を活用した取組の紹介 – N – 5)

和歌山フリー Wi-Fi 大作戦 (和歌山県)

【概要】

和歌山県では、平成27年度「和歌山フリー Wi-Fi大作戦」と題して、急増する外国人観光客等が快適に滞在できるよう、Wi-Fi接続環境の大幅な向上に取り組みました。

Wi-Fiアクセスポイントを主な県有施設に整備するとともに、市町村や民間事業者が観光関係施設等に整備する際に県が補助することにより、アクセスポイントの量的な拡大を図りました。また、数を増やすだけでなく、整備事業者との協働により統一した整備基準を定め、接続のための認証手続の一元化を図るなど、利用者に利便性の高いWi-Fi整備を進めています。

【コラム】

(1) 事業の背景・経緯

和歌山県では、Wi-Fiアクセスポイント数が平成27年1月時点で推定800箇所に満たず、全国的に見て非常に少ない状況でした。そのような中、近年多くの外国人観光客が来県され、また国体も開催される年に当たり、Wi-Fi接続環境を向上させる必要がありました。

(2) 事業内容

[作戦 1]

県有施設（12施設54AP）の整備とともに、Wi-Fi整備事業者（NTTグループ）と協定を結び、県内の市町村や民間の観光関係施設等に無料Wi-Fiを一気に整備

[作戦 2]

商店街、宿泊・観光関係施設など500箇所程度、市町村（観光地）50箇所程度について、Wi-Fi整備を補助により支援



(3) 「WAKAYAMA FREE Wi-Fi」の特徴

県有施設における「WAKAYAMA FREE Wi-Fi」(WFW)は、平成27年9月1日から正式にサービスを開始しましたが、整備事業者のセンターサーバを利用し、接続に当たり民間施設と認証方式の一元化を実現しました。外国人観光客を含む誰もがメールアドレスの登録のみで手軽に利用でき、一度登録すれば、他の場所でも新たな利用登録なしで簡単に接続が可能となっています。

また、「Japan Connected-free Wi-Fi」アプリに対応し、全国の多くのフリーWi-Fi（平成27年11月10日現在13.8万スポット）にも新たな利用登録なしで接続可能であるとともに、10の外国語にも対応しています。

1回の接続時間は最長60分、1日の接続回数を最大24回と、利用しやすい設定にするとともに、コンテンツフィルタを採用し、青少年に有害な情報や危険性が高いと思われるサイトへの接続を制限しています。

平時には接続した場所の施設の情報を初期表示しますが、災害時には避難等の情報を表示するように設定します。

民間施設等のWFWについては、施設オーナーのニーズに合わせて、県有施設と同様に60分×24回の接続をするLONG版と、15分×16回の標準版を選択できる形で導入されています。

また、県有施設同様、「Japan Connected-free Wi-Fi」アプリに対応しています。

(4) 事業の効果

平成27年度中にWFWのアクセスポイントを1,000スポット以上に、29年度中に1,500スポット以上に拡大することを目標に着実に整備を進めているところであり、認証一元化等により利便性の高い効果的なWi-Fi整備の実現を図っています。



各アクセスポイントに共通のステッカーを掲げ、利用者にわかりやすく表示



[問い合わせ先]

- ・和歌山県企画部情報政策課
- ・電話番号：073-441-2400
- ・e-mail：e0204001@pref.wakayama.lg.jp

- ・和歌山県商工観光労働部観光交流課
- ・電話番号：073-441-2787
- ・e-mail：e0625001@pref.wakayama.lg.jp